

令和7年6月版

長崎の 「働く」を支える



2025年度 長崎労働局早わかりガイド



厚生労働省 長崎労働局

働きたい人すべてが、働くことができ、
充実した職業人生を送ることができるように、
行政として「働く」を多方面からサポートする
役割を担っています。

【職業安定行政】

仕事の確保

- 職業相談・職業紹介
- 失業等給付の支給
- 雇用関係助成金の支給

【人材開発行政】

職業能力の向上

- キャリア形成支援
- 職業訓練の実施

【雇用環境・均等行政】

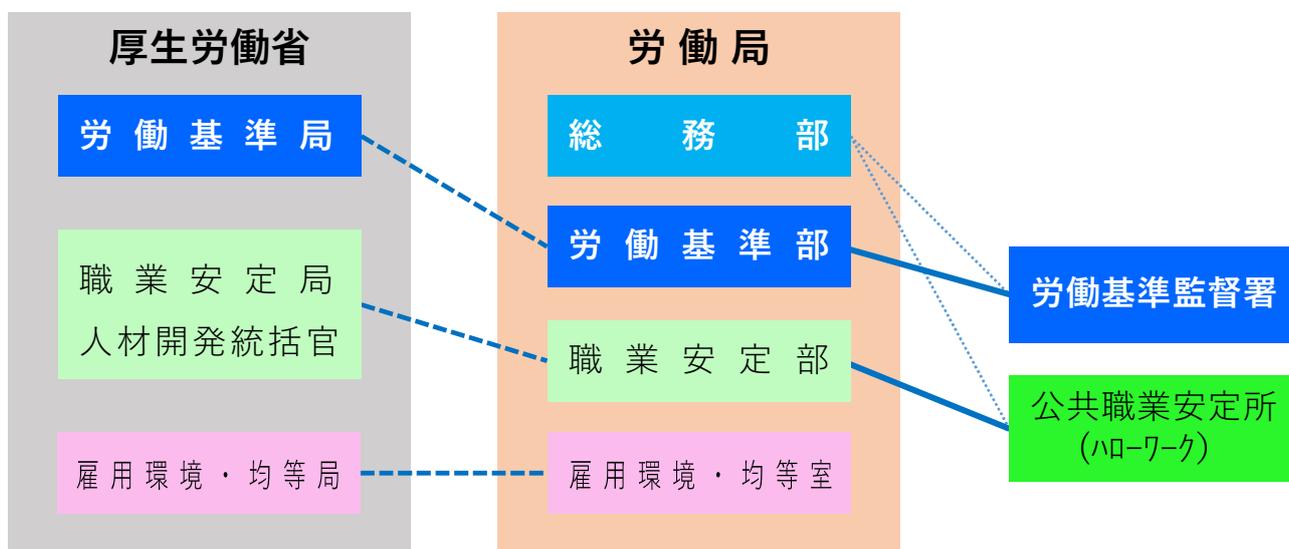
働き方改革

- 男女の均等待遇の確保
- 仕事と家庭の両立支援

働く人・働きたい人に寄り添い、支援し、生活
を守ることが私たちの仕事です。

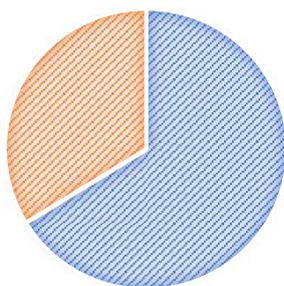
組織概要

4つのセクションが連携することで、労働行政の役割を果たします。



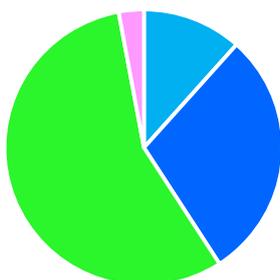
職員数

長崎労働局では、306名で4セクションを担っています。



- 男性 199名
- 女性 107名

《担当セクション別》



- 総務部（総務課＋労働保険徴収室） 36名
- 労働基準部＋監督署 88名
- 職業安定部＋ハローワーク 173名
- 雇用環境・均等室 9名

※この他に、452名の非常勤職員等が勤務しています。（2025.5.1現在）

総務部

【総務課】

【労働保険徴収室】

【総務課】

長崎労働局の職員数は、非常勤職員を含めると約760名在籍しています。

総務課では、職員・非常勤職員の採用や人事異動に関する業務、給与や旅費の支給、福利厚生、各種契約事務、労働局や各労働基準監督署・ハローワークで使用する物品の管理業務などといった、労働局組織全体の運営を支えるための業務を行っています。

【労働保険徴収室】

労働保険とは、工作中や通勤中の負傷や病気に際して給付を受けるための労災保険と、失業した際に失業給付を受けるための雇用保険の総称です。労働保険徴収室は、労働保険の加入手続きや、保険料の申告受付および徴収の業務を主に行っています。

また、労働保険に加入していない会社を把握し、加入の指導を行う「適用促進」の取り組みや、保険料が適正に申告納付されているか会社に立入検査を行うこともあります。

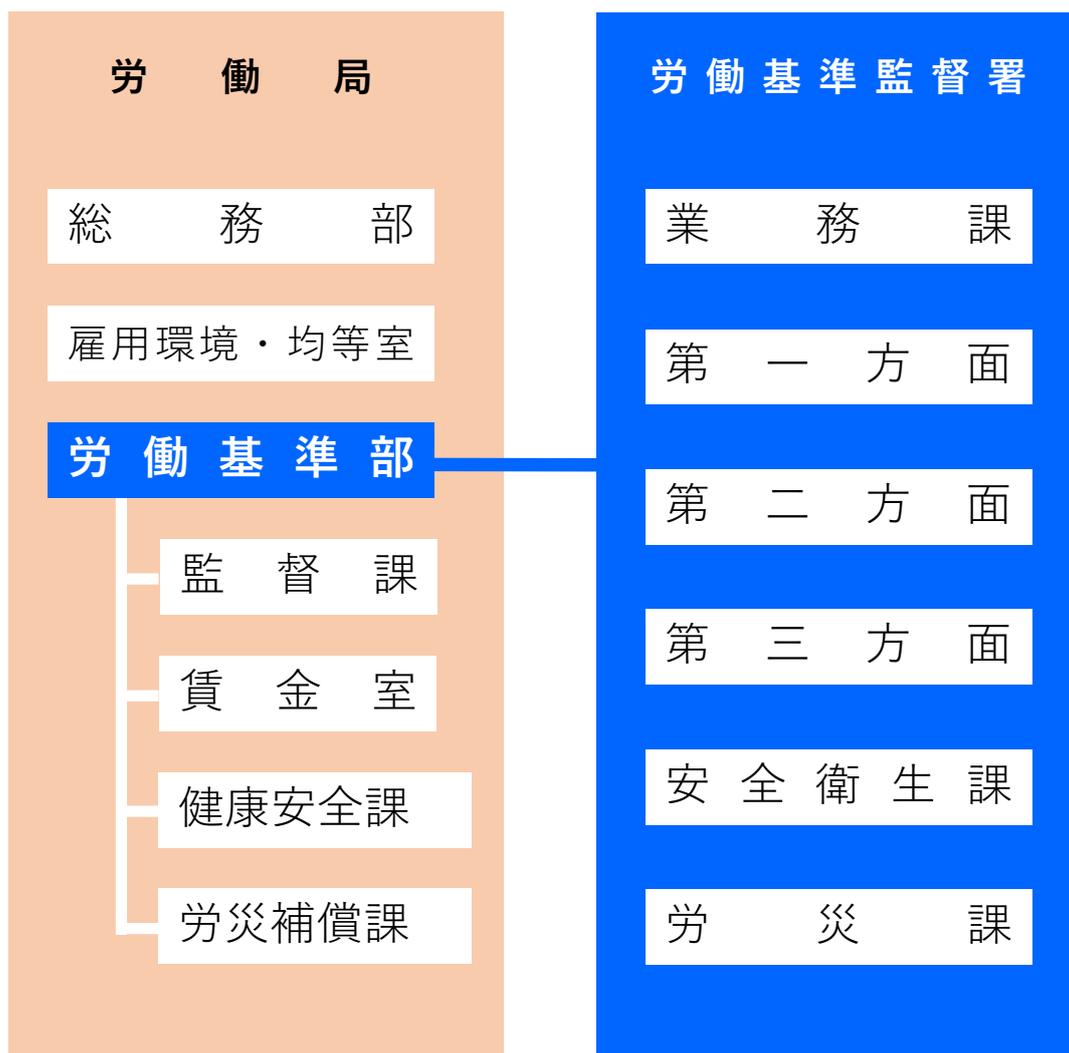
雇用環境・均等室

雇用環境・均等室は、誰もが性別により差別されることなく、その能力を十分に発揮できる雇用環境の整備とともに、育児や家族の介護を行う労働者の福祉の増進を図ること、非正規雇用労働者がその能力を有効に発揮することができる雇用環境を整備することを目的として、男女雇用機会均等の確保や、働き方改革の推進、非正規雇用労働者の待遇改善やハラスメント対策の推進、女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいます。

また、労働局や労働基準監督署、ハローワークが各地域で施策を総合的に繰り広げられるように労働局内外の調整を行ったり、労働局のHP編集や定例記者会見、各種プレスリリースのとりまとめなどの労働局全体の広報業務も担当しています。



業務内容（労働基準セクション）



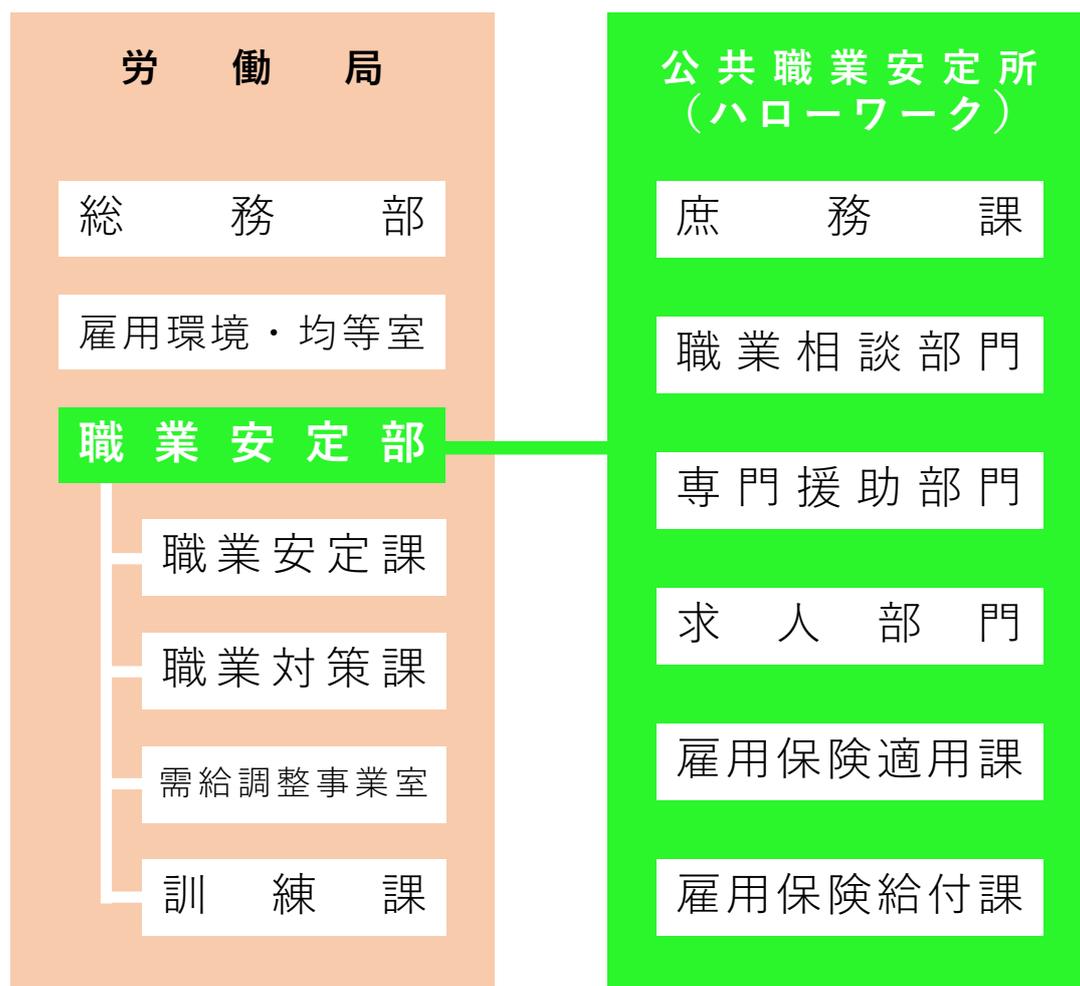
事務官（基準）は、主に県内労働基準監督署の労災課に配属され、そこで労災保険に関する事務を担当します。

労災保険とは、工作中や通勤途中の事故でケガをしたり、業務が原因で病気になったりした場合に労働者や遺族に保障を行う制度です。

具体的には、被災労働者や事業場から寄せられる電話や窓口での相談対応のほか、保険給付請求書の審査、保険給付の判断に必要な関係者への聴き取り調査、医学的根拠となる資料収集などを行いながら、必要な給付を行っています。

労働基準監督署には、事務官（基準）のほか、労働基準監督官や厚生労働技官が在籍しており、相互に連携しながら労働基準監督署の業務を推進しています。

業務内容（職業安定・人材開発セクション）



事務官（共通）は、主に県内ハローワークで職業紹介業務や雇用保険業務を担当します。

職業紹介とは、求職者と求人者を結びつける業務です。

具体的には、職業相談を通して、本人の希望条件や能力・適性を把握し、求人情報の提供や職業紹介を行ったり、仕事に就くために必要なスキルや知識を身につけるための職業訓練の受講案内を行う業務を担当します。その他、人材確保で困っている企業に対して、求人条件のアドバイスや求職者へ提供する求人の開拓業務も行っています。

また、雇用保険とは、会社を退職するなどして失業された方が、安定した生活を送りつつ、1日も早く再就職できるよう求職活動を支援するための制度です。

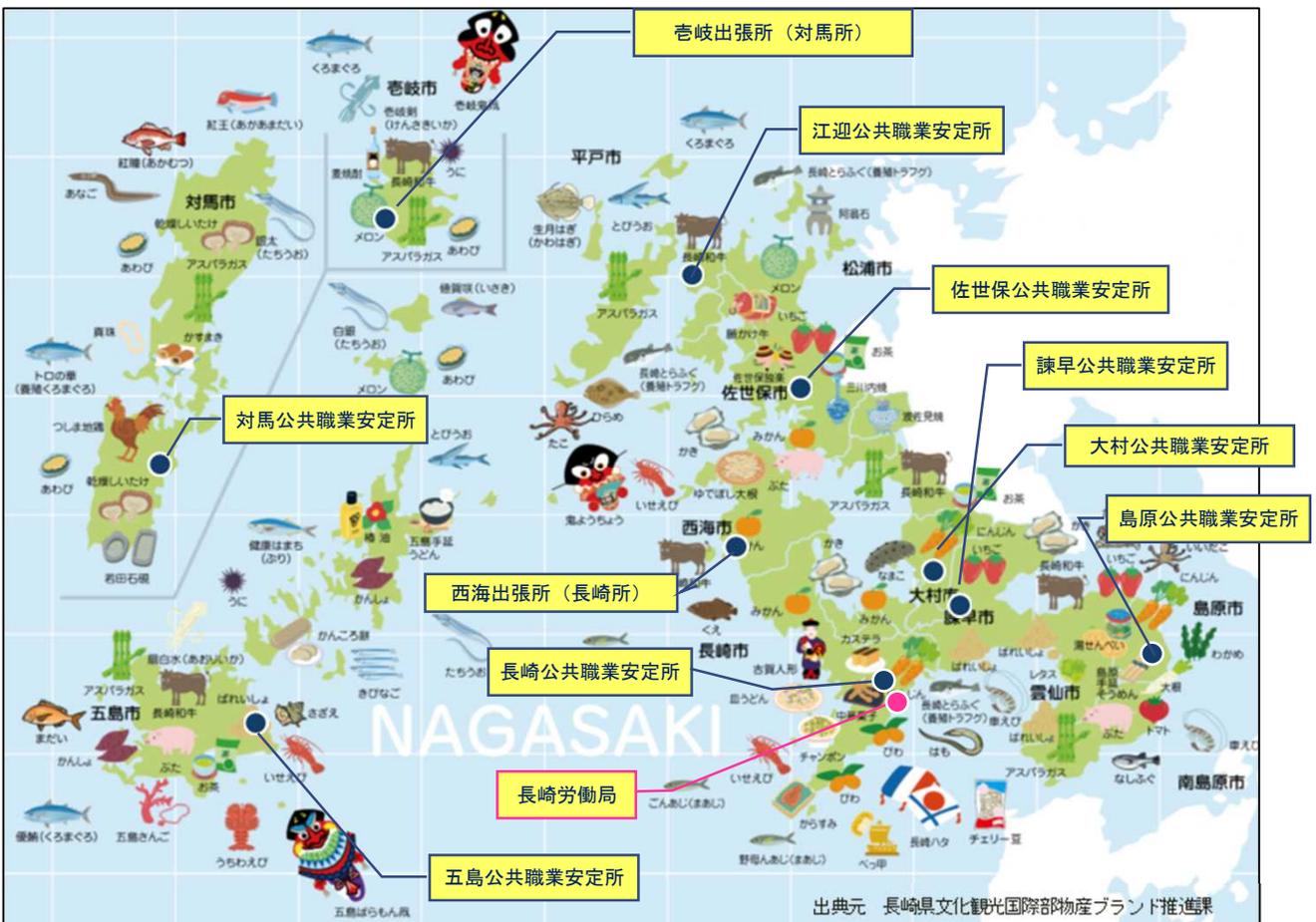
具体的には、失業給付の受給資格要件を確認する受給資格決定業務や失業の状態を確認するための認定業務などを行います。

ハローワークは、「雇用のセーフティネット」としての役割を担っています。

管内地図 (労働基準監督署)



管内地図 (ハローワーク)



業務を行うには知識と経験が欠かせません。

配属先・労働局・労働大学校で、様々な研修が行われています。

労働大学校で実施する研修は、全国から研修を受けに集まるため、他県の労働局職員と交流する機会でもあります。

係員

●採用1年目

まずは公務員として必要とされる基礎的な知識の習得のための研修が準備されています。担当業務の面では、先輩・上司に教わりつつ実際に業務をこなしながら、少しずつ知識・経験を蓄積します。

【研修の一例】

一般研修（基礎）

受講対象者：新規に採用された職員を対象とした研修

主任
係長
指導官
専門官

●特定の職務に就いた時に

各分野の専門的業務に必要な基礎知識、専門知識を学び、事務の進め方や様々な技法等を習得します。

一般研修（上級）

受講対象者：数年の実務経験がある職員を対象とした研修

管理職

●節目の時期に

役職の段階が上がるタイミングで、求められる役割や部下との関係構築、業務のマネジメント等、行政を運営していくために必要な知識、技術等を学びます。

管理監督者研修

受講対象者：労働基準監督署長及び公共職業安定所長、課長職等に就いた新任者を対象とした研修

幹部職員

労働大学校について

労働大学校とは、埼玉県朝霞市に拠点を構える労働行政職員の研修施設です。全国の労働行政で働く職員を対象に、求められる資質及び業務遂行能力の向上と能率の増進を目指して、担当業務・行政経験等の各段階に応じて、研修計画に基づいた研修を受講することができます。全国の労働行政職員との交流の場でもあります。

新規採用職員サポーター制度

初めての就職や転職では多くの方が不安を感じるものです。

長崎労働局では、新規採用職員が職場内で孤立することがないように、1名につき複数名のサポーターとなる先輩職員を選任し、仕事上の疑問や職場生活、私生活等における悩みを相談できる体制を整えています。

サポーター制度を利用した新規採用職員の声

(令和5年度新規採用者の感想)

▶入省後、業務の進め方や調べ方がわからなく困ったときは、もっと周りの職員を頼っていいとアドバイスをもらい安心して業務を進めることができるようになった。

▶時間外に食事に誘ってもらったりなど、公私ともにサポーターに支えてもらい、人間関係で悩むことはありませんでした。

▶サポーター自身の体験談を踏まえてアドバイスをしてくれたため、具体的なイメージを持つことができ不安なく仕事に臨めた。

▶サポーターの方だけでなく、職場の職員皆さんがサポートしてくれる環境であるため、安心感をもって、日々の業務に取り組んでいます。

▶サポーター制度を始めた当初は、業務のことばかりでしたが回を重ねるごとに私生活での悩みや雑談も増え、相談しやすく、仕事をしやすい環境を整えてもらいました。



休 暇

仕事は一生懸命に取り組みますが、時には心身のリフレッシュも必要です。

職員間で業務の状況を配慮しつつ、交替で休暇を取得しています。

自分の職業人生も大切に！！

あなたは、どんな休暇を過ごしますか？

年次休暇 取得実績

年間平均 18.17日



育児（家庭）との両立

社会全体のワークライフバランスの推進は、労働行政の役割の一つです。

職員のワークライフバランスについても同じように取り組んでいます。

出産・育児に関する休暇・休業制度は、男性・女性に関係なく利用できます。

長崎労働局では、**女性職員の育児休業取得率は100%**、中には上限（子どもが3歳に達する）まで取得する人も。

男性職員も子供が1歳になるまでの間に育児に伴う**休暇・休業を1か月以上取得（取得率100%（令和6年度））**し、積極的に育児に参加しています。



酒井 優旗
(さかい ゆうき)

ハローワーク諫早
平成27年4月1日採用
令和7年4月1日から現職



➤ 現在の業務内容



ハローワークではお仕事を紹介すること以外にも、助成金や雇用保険等の業務を行っています。

私は現在、ハローワーク諫早で雇用保険業務に携わっています。雇用保険業務は主に企業の方が行う手続きと求職者が行う手続きがあり、私は求職者が行う手続きを担当しています。

窓口で求職者の方から雇用保険の相談を受けることがありますが、求職者の方の雇用保険に対する期待は高く、非常にやりがいのある仕事です。

➤ 受験者の皆さんへ メッセージ



就職活動は非常に大変ですが、納得のいく就職先が見つかるよう、頑張ってください。

労働局はワークライフバランスが充実しており、非常に働きやすい職場です。

皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

➤ ワークライフバランス について



職場が労働行政ということもあり、毎月1回以上必ず有給休暇を取得することや、男性の育児休業取得が職場の目標となっている等、各種休暇が非常に取りやすい環境です。

私は、昨年度まで離島にあるハローワーク五島で勤務を行っており、そのときに第二子が生まれました。第二子が生まれる際は、配偶者出産休暇、産後パパ育休、育児参加休暇、育児休業で長期休暇を取得しました。離島で職員の人数が少ない職場でしたが、気兼ねなく長期休暇を取得することができ、仕事のことを気にすることなく育児に参加することが出来ました。

最近につきまして、毎週土日は家族で水族館などに出かけています。土日祝日は仕事が休みですので、休日の計画が非常に立てやすい職場です。

労働局は、ワークライフバランスが充実している職場であり、私自身も仕事と子育てを両立しています。

永田 有依
(ながた ゆい)

ハローワーク佐世保
令和6年4月採用（現職）



労働行政を志望した理由は？

元々、地元で貢献できる仕事がしたいと考えていました。その中で、地域の方々に寄り添うことができるハローワークという機関を知り、生活する上で欠かせない「労働」に行政の立場から携わり、様々な面から働く方の支援を行うことで地元のために尽力したいと思い、志望しました。



仕事とプライベートは両立できてる？

オンとオフの区別は日頃心がけているため、仕事終わりには、趣味であるドラマ視聴や映画鑑賞を、休日には友人とショッピングやドライブへ出かけたりと、充実したプライベートを過ごせています。



入省後、印象と違ったことは？

職員同士のつながりが強いということです。業務内外問わず、周りの職員方が声をかけてくれ、また業務で悩むことがあっても、上司や先輩職員が親身になって相談に乗ってくれます。さらに、新規採用の半年間行われるサポーター制度は、公私共に支えられ、同期が近くにいなかった私にとってはとても救われました。

休暇は取れる？残業は？

月に2日程度は残業することがありますが、ほぼ定時で帰宅できています。また、年次休暇も月1日以上取得が推進されているため、気兼ねなく休暇を取ることができています。



現在の業務内容は？

現在は、雇用保険の資格取得・喪失及び育児休業給付金等雇用の継続を目的とした給付金に関する業務を主に行っています。4月から新制度も始まったため、窓口等で事業所へ制度の説明を行い、積極的に周知・案内を行っています。



受験者の皆さんへメッセージ

実際私自身1年間勤務してみて、本当に職場の雰囲気良く、とても良い環境で働けているなど日々感じています。休暇も取りやすくワークライフバランスも実現可能です。ぜひ、志望官庁を選ぶ際には長崎労働局を視野に入れていただけると嬉しいです。皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ！



野濱 莉佐子
(のはま りさこ)

佐世保労働基準監督署労災課
令和4年4月採用
令和7年4月から現職



労働基準行政の志望理由は？

私は労働に関わる仕事に興味があり労働局を志望しました。ハローワークと労働基準監督署のどちらで働きたいかと考えた時に、事業場や医療機関と関わる機会の多い労働基準行政に興味があったため、労働基準行政を志望しました。



現在の業務内容は？

現在は労災の給付業務を行っています。具体的には、仕事で怪我や病気になった人の治療費や休業等の請求書を受付し、労災として認められるかどうか審査しています。

請求内容によっては長期間の調査を行うこともあります。



労働基準監督署で勤務した印象は？

請求人の方とやり取りする機会が多く、労災として認められない場合でも請求人の方が納得していただけるよう調査を行う必要があるため、責任感のある仕事だと感じました。

また、請求内容の調査を行う際に、病名や医療用語で分からないことが多く、日々調べながら業務を行う必要があるため、学ぶことの多い仕事だと感じています。



残業は？休暇は？お給料は？

私は基本的に残業せず定時で帰宅するようにしています。月の残業時間は繁忙期でも20時間は超えないようにしており、通常期だと10時間も残業していないことが多いです。

休暇は、マンスリー休暇制度で月1日以上休暇を取らなければいけないこともあり、休暇を取りやすい環境だと思います。土日出勤もないため、休日の予定が立てやすく、たまに金曜日に年休を取って2泊3日で旅行に行くこともあります。

給料は高いわけではないですが、年に2回賞与の支給があります。給料も年数を経るごとに上がり、家賃補助や交通費の支給もあるため、生活するうえで不自由はないと思います。



ぜひ皆さんと！！

最初は分からないことが多いと思いますが、やっていくうちに慣れていくので、そこまで心配しなくても大丈夫だと思います。

周りの人達も親切な方が多く、質問しやすい環境が整っています。

休みも取りやすいため、ワークライフバランスを大事にしたい方にはいい職場だと思います。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ！

入江 真伍
(いりえ しんご)

ハローワーク対馬
平成31年4月1日採用
令和5年10月1日から現職



現在の業務内容は？

現在は、雇用保険業務全般を担当しています。雇用保険業務は、大きく分けて適用(会社からの加入・退職手続きや、育児・介護中の方への給付金の支給など)と、給付(仕事を辞めた方への給付金の支給や、資格を取るために講座を受けた方への給付金の支給など)の2つがあります。ハローワーク対馬では職員数が少ないため、幅広い業務を経験することが出来ます。



離島勤務の魅力は？

1つめは、住民の皆さんがとても温厚なところです。対馬に住んでいる方はおおらかな性格をしている方が多いので、ストレスなく働くことが出来ています。2つめは、自然環境豊かな場所に住むことが出来ることです。透き通った海や眺めの良い山に囲まれており、気軽に自然に触れることが出来ます。また、本土ではなかなか見ないような生き物と出会うこともあります。先日ドライブしていたときに、道の真ん中にイノシシが歩いているのを見かけました。運が良ければツシマヤマネコとも出会えるかもしれません。



受験者の皆さんへメッセージ

民間の仕事と公務員の仕事、公務員の中でも多くの官庁があり、どんな仕事を選ぶか迷っている方もたくさんいらっしゃると思います。労働局の仕事は、どの部署も国民の皆さんの生活を支える仕事なのでやりがいを感じることが出来ますし、ワークライフバランスを重視して働くことの出来る職場です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

安本 衣里
(やすもと えり)

長崎労働局総務課
令和5年4月社会人選考採用
令和7年4月から現職



長崎労働局の志望動機は？

求職活動を始めた当初、公務員の選択肢はあまりありませんでした。直前に勤めていた民間企業では、事務（総務）をしており、労働保険の手続き等を行っていました。また、若い社員の離職率を下げるため、労働条件等の処遇改善計画に携わるなかで、労働基準法について学ぶ機会がありました。

長崎県は、若者の県外転出などにより労働者人口も減少していたり、昔あったお店や会社が閉鎖していたりするので、長崎で働きたいと思う労働者や、長崎で事業を行いたいと思う事業場が増加するように、長崎がもっと魅力的な街になればいいのに、とぼんやりとっていました。そんな中で、社会人採用情報を目にする機会があり、労働行政の立場から、長崎の発展に繋がる仕事ができるのではないかと思い、応募に至りました。

仕事はどうやって覚える？

「（社会人採用は）新卒の職員が時間かけて得ていくものを、短期間でみにつけていかないといけない。だから、大変だけど、人一倍勉強する気持ちでやっていかんばいかん。」

採用1年目、大先輩から言われた言葉を常に意識するようにして、業務に関わる参考書などは読み漁っています。もちろん、参考書に書いていることだけが業務の全てを網羅しているわけではないので、迷ったときには、先輩方に助けを求めています。質問に対して快く教えてくださる上司・先輩・非常勤職員の皆さんに助けをもらいながら、1日1日新しい知識を得ていっています。

社会人選考採用受験希望者へ向けたメッセージ

入省前、何社か転職経験がありますが、業界も職種も様々な仕事に就いていました。労災保険に関わる知識は、入省してから学んだので、私よりも知識も経験も豊富な若い職員さんはたくさんいます。ただ、民間企業で様々な仕事をしてきてからの入省は、一見、遠回りのように思えるかもしれませんが、これまでの仕事で得た経験は決して無駄にはなっていないと思います。業務は違えど、労働行政に携わる人間として、実際に民間企業で働いて、実態を知っていることは、強身になると思います。

職場の雰囲気はどう？

令和5年度に配属されたとき、最も印象的だったのは、署内に笑顔が絶えないところと、上司・先輩・非常勤職員の皆さんが温かい方ばかりで、質問しやすい職場だなと感じたことです。諫早労働基準監督署は、人数的には少ない署ですが、そのためか、日ごろから職員間の会話も増えるので、業務で必要な時に、他の課の職員に対しても気軽に相談できるところが、諫早労働基準監督署の魅力的なところだと思っています。

チャレンジしてよかったことは？

複数回、転職経験がありますが、それぞれの職場に、仕事ができる人、人間性が素晴らしい人など、多くの人と出会えたおかげで、今の自分があると思っています。令和5年度に諫早労働基準監督署に配属となり、尊敬できる先輩方に出会えたことは、やはり一番良かったと感じるところです。仕事への姿勢、知識はもちろん、周囲の全ての人への感謝を忘れず、職場の潤滑油のような存在である方に出会い、今、たくさんのことを学ばせてもらっています。

社会人採用ならではの難しさは？

単純に、新しいことを覚える頭脳が劣化していることを痛感しています。そして、だんだん健康にも自信がなくなっていく年代であるため、休みは仕事のことを忘れ、思い切り休んで、リフレッシュすることの大事さを感じています。それと、社会人採用職員は人数が少ないこともあり、同じような悩みを共有できる同年代の職員が近くにいないことが悩みです。



障害者雇用 中小事業主認定
もにす（長崎労働局Ver）



厚生労働省 長崎労働局

〒850-0033

長崎市万才町7-1 TBM長崎ビル3F

総務部総務課人事係

TEL 095-801-0020

<https://jsite.mhlw.go.jp/nagasaki-roudoukyoku/roudoukyoku/information/saiyo-joho.html>

